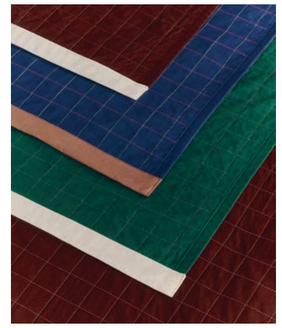
THIS IS OUR NEWS 2026

HAY

THE SHAPE OF THINGS TO COME













AUTUMN 2026

HAYのコレクションは、新たなアイテムの登場や既存のタイポロジーの進化とともに広がり続けています。これまでのデザインを受け継ぎながら発展させたものもあれば、新たな始まりを示すものもあります。ひとつひとつ、じっくりと見るほどにその魅力が感じられ、それぞれが生まれるまでの物語も見えてきます。それは、HAYの現代デザインにおける世界観を形づくる、著名なデザイナーから新進気鋭のデザイナーまでさまざまなデザイナーたちとHAYが重ね続けている対話の軌跡でもあります。

今回発表する家具には、いくつもの注目すべき「初」があります。そして、その革新性は、一見しただけでは気づかないところに潜んでいます。ジャスパー・モリソンがHAYのために初めて手掛けたPACK CHAIRは、椅子の歴史において長く使われてきた、名もなき存在ともいえる「トラットリア」の原型に立ち返り、直感的に組み立てられるフラットパック構造によって工業製品として再解釈されたものです。グドムンドゥル・ルドヴィクのBACKFLIP CHAIRは、背もたれに組み込まれて隠された機構により、フォールディングチェアを新たな視点から捉え直しています。緻密に設計された動きそのものが、折りたたむ、広げるという操作を特徴づけています。フィリップ・マロウィンはMIMI SOFAでHAYに初登場。たっぷりとしたクッションと、取り外し可能な仕立てのよい張地を備えた、日常使いのソファです。続くページでは、英国からデンマークまで、それぞれのデザイナーのスタジオを訪ね、各デザインの背景にある発想をたどります。

こうした考え方は、既存のコレクションにも広がっています。なじみのあるデザインをあらためて見つめ、さらに発展させました。アンドレアス・ベルグソーケルによるCHISEL LOUNGE CHAIRは、ダイニングチェア、スツール、バースツール、さらに4つのタイプのテーブルを加え、ひとつのファミリーへと展開します。MAGS SOFT LOW SOFAには新たに取り外し可能なカバーが加わり、HAYの現代的な定番をより長く使い続けられるようになりました。TRAY TABLEにもアップデートを加え、長く愛されてきたデザインを、現代の暮らしに合わせて進化させています。

同じ考え方はアクセサリーや照明にも取り入れられ、小さなアイテムにも細部まで丁寧な工夫が凝らされています。新しいアクセサリーでは、ドーシ・レヴィンによるDORIコレクションにベッドカバーとクッションが登場。インドのテキスタイルの伝統をHAYの現代的な世界観に織り込んでいます。ESSENTIAL STEELコレクションは、ホスピタリティの伝統から着想を得て厳選したステンレス製のサービングウェアを展開し、現代のテーブルにどこか懐かしい趣を添えます。アーティスト、エマ・コールマンの絵画的な世界も、LA PITTURAテーブルウェアコレクションの新作へと広がり、アートは日常の中にあるものというHAYの考えを映し出しています。HAYで初めて発表される2つの照明には、共通するルーツがあります。どちらもギャラリーで展示するオブジェとして生まれ、その後HAYのコレクションに加わりました。クレール・ラヴァーブルのPOSTO TABLE LAMPは、ランプという存在を、2本のネジで組み立てる3つのアルミニウム素材のパーツという最小限の構成にまで削ぎ落としています。一方、ルクレール・ヴィアレのCANELÉ TABLE LAMPは、細身の3本脚のスチールフレームに、プリーツを施したテキスタイルシェードを載せたデザインです。

コレクション全体に共通するのは、シンプルに見えるデザインにも、見た目以上の工夫が込められていることです。この先のページでは、それぞれのデザインが生まれたスタジオを訪ね、そこで交わされた対話や、デザインが形になるまでの思考や選択の過程をたどります。







FURNITURE NEWS



HAYの家具を初めて手掛ける３人のデザイナーが、コレクションに加わります。
ジャスパー・モリソンはPACK CHAIRでトラットリアチェアを再解釈し、フィリップ・マロウィンは柔らかな仕立てが特徴のMIMI SOFAを発表。
グドムンドゥル・ルドヴィクは、ひと工夫を加えたフォールディングチェア、BACKFLIP CHAIRを提案します。
また、アンドレアス・ベルグソーケルによるCHISELコレクションでは、チェアやスツール、テーブルを揃えた幅広いラインナップを展開。
MAGS SOFT LOW SOFAには取り外し可能なカバーが加わり、TRAY TABLEも新たにアップデートされました。



PACK CHAIR





BY JASPER MORRISON



PORTRAIT OF JASPER MORRISON IN HIS STUDIO IN EAST LONDON.



THE FAMILIAR, RECONSIDERED

PACK CHAIRは、英国を代表するデザイナー、ジャスパー・モリソンがHAYのために初めて手掛けたチェアです。椅子の歴史において長く親しまれ、名もなき存在ともいえるトラットリアチェアを、現代的に再解釈しました。
このプロジェクトは、ロンドンにあるモリソンのスタジオの棚に置かれた小さな模型から始まりました。PACK CHAIRが少しずつ形作られた場所です。スタジオを訪れたHAYの共同創業者で家具・照明部門のクリエイティブディレクター、ロルフ・ヘイは、その模型に目を留めました。典型的なフォルムでありながら、ひと目で心を惹かれるものがあったのです。この小さな模型を出発点に、伝統的な木製チェアの価値を工業生産へと落とし込んだチェアが生まれました。「私たちが手掛ける仕事は、時代に即した独創的なものでなければなりません」とヘイは語ります。「このタイプのチェアについて、もう少し思い切ったことをしようと話していました。これをフラットパックにしたらどうだろう?」目指したのは、品質やデザインの意図を損なうことなく、ジャスパー・モリソンの数ある作品のなかでも、特に手が届きやすいチェアを生み出すことでした。

モリソンのほかのデザインと同様、PACK CHAIRも一見するとシンプルです。そこには、彼の代名詞ともいえる「スーパーノーマル」の哲学が表れていますが、そのシンプルな姿の内側には、高度な設計上の工夫が凝らされています。座面と背もたれには、ポストコンシューマーリサイクルポリプロピレンを80%使用し、木材繊維を混ぜることで強度を高めるとともに、表面に繊細で自然な質感をもたせています。オーク無垢材の脚と、オプションで選べる合板の背もたれが、プラスチックのフォルムに自然素材ならではのコントラストを添えています。フラットパックで届けられるチェアは、組み立て方にも工夫が凝らされています。脚を定位置に固定し、オプションのファブリックカバーは座面の縁に設けられた溝にはめ込む仕様です。ユーザー自身が張り職人の役割を担うことで、まるで仕立てたような美しい仕上がりになります。分解やパーツの交換、修理を考慮したデザインで、長く使い続けられるように製作されています。

フラットパック構造にちなんで名付けられたPACK CHAIRは、プラスチックと生地張りの2種類の座面と、幅広いカラーバリエーションを展開。住宅から店舗、商業、公共空間まで、さまざまなシーンに自然に馴染みます。親しみのあるフォルムと、細部まで行き届いたデザイン。PACK CHAIRは、よく見るほど、そして実際に触れて使うほど、新たな魅力が見えてくるチェアです。



AVAILABLE IN PLASTIC OR UPHOLSTERED SEAT OPTIONS, WITH SOLID OAK LEGS, AN OPTIONAL PLYWOOD BACKREST, AND A WIDE RANGE OF COLOURS.

MIMI SOFA





AVAILABLE IN MULTIPLE SIZES AND AS AN OTTOMAN, MIMI COMES IN A CURATED SELECTION OF HIGH-QUALITY FABRICS AND CAN BE COMPLEMENTED WITH MATCHING SQUARE OR RECTANGULAR CUSHIONS.

A SIMPLE SOFA

HAYに初めて加わる英国系カナダ人デザイナー、フィリップ・マロウィンが発表するMIMI SOFAは、ゆったりとした中央のクッションが特徴の、快適な日常使いのソファです。慣れ親しんだ居心地のよい場所に身を預けるような、穏やかな安らぎを感じさせます。緩やかに立ち上がったエッジが座面を包み込み、構造的なフォルムと柔らかさの間にさりげない境界をつくり出しています。

丁寧に仕立てられた取り外し可能な張地が、柔らかなブランケットのようにフレームを覆います。上部のエッジに沿った緻密なステッチがMIMI SOFAのくっきりとした輪郭を際立たせ、裾に向かうにつれて生地はゆったりと広がります。ひとつのシルエットの中で、端正な仕立てからリラックスした表情へと静かに移り変わります。長く使うことを考えてデザインされており、交換可能なカバーによってMIMI SOFAは年月とともに変化する暮らしにも柔軟に対応します。親しみやすく、毎日の暮らしに取り入れやすい、長く付き合えるソファです。
※日本国内展開未定



PORTRAIT OF THE DESIGNER IN HIS STUDIO IN HACKNEY, LONDON.

BY PHILIPPE MALOUIN

CHISEL COLLECTION





DESIGNER ANDREAS BERGSAKER.



ACROSS THE SEATING, A WIDE RANGE OF UPHOLSTERY OPTIONS
ALLOWS CHISEL TO BE TAILORED TO ITS SETTING.



WITH AN ADDITIONAL LEAF THAT EXTENDS THE RECTANGULAR TABLETOP, CHISEL TABLE 630
EXTENDABLE ADAPTS EASILY FROM EVERYDAY USE TO SHARED DINING AND LARGER GATHERINGS.



BY ANDREAS BERGSAKER

A FAMILY TAKES SHAPE

CHISEL LOUNGE CHAIRに続き、HAYはノルウェー人デザイナー、アンドレアス・ベルグソーケルによるフルコレクションを発表します。現代的でありながら時代に左右されず、さまざまな室内空間に調和するコレクションです。ひとつの成形合板のチェアから始まったデザインは、ダイニングチェア、スツール、2種類のバースツール、さらに4つのタイプ、全10サイズのテーブルを揃えた、ひとつのファミリーへと発展しました。

「CHISEL LOUNGE CHAIRの最初のサンプルを確認したとき、ロルフからダイニングチェアも考えたことがあるかと聞かれました」とベルグソーケルは振り返ります。「実は考えていたので、スマートフォンを取り出してイメージ画像を見せました。そこから、どんどんアイデアを広げていきました。その時点ですでにHAYと6年間仕事をしていたので、ひとつのプロダクトからラインナップ全体へと展開していく作業には慣れていました」

伝統的な木工道具である「鑿（のみ：chisel）」にちなんで名付けられたこのコレクションには、鑿を思わせる繊細なディテールが随所に取り入れられています。角度をつけて面取りした脚が、それぞれのアイテムに彫刻的なシルエットを与えるとともに、異なるタイプの家具に共通する構造的な特徴となっています。「背もたれと座面は丸みを帯びた有機的なフォルムですが、脚は鋭くシャープです」と、HAYの共同創業者で家具・照明部門のクリエイティブディレクター、ロルフ・ヘイは語ります。この構成はテーブルにも受け継がれ、薄い天板に合わせて脚を四隅いっぱいに配置しています。 ※日本国内展開予定







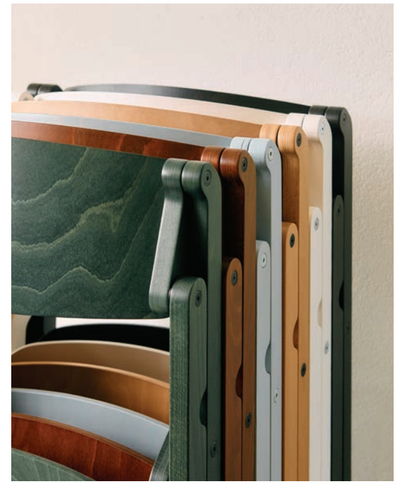




BACKFLIP CHAIR



DESIGNER GUDMUNDUR LUDVIK.



AVAILABLE IN NATURAL BEECH AND A RANGE OF WATER-LACQUERED COLOURED FINISHES.

A FOLDING CHAIR WITHOUT COMPROMISE

グドムンドゥル・ルドヴィクは、ものがある状態から別の状態へと変化する、その仕組みに長年魅了されてきました。アイスランド出身でデンマークを拠点に活動するルドヴィクは、自身のスタジオで、長年向き合ってきたある課題について語ります。それはフォールディングチェアが本質的に抱える、機能性を追求すると見た目の美しさや快適さ、あるいはその双方が犠牲になりがちであるというジレンマです。HAYとの初のコラボレーションとなるBACKFLIP CHAIRは、その課題に対する彼の答えです。

一見すると、オーソドックスな木製チェアです。すっきりとしたラインと素材を生かしたつくり、そしてさりげなく北欧らしさを感じさせる佇まいを備えています。その姿から、特別な仕掛けを感じさせるものはありません。しかし、背もたれを回転させると、意外な仕掛けが現れます。そのままスムーズなひとつの動きで、チェアを折りたたむことができます。一般的なフォールディングチェアでは座面に組み込まれている機構を、BACKFLIP CHAIRでは背もたれそのものに巧みに組み込んでいます。外からは見えない、独創的な解決策です。「シンプルさと独創性が両立したとき、真にパワフルなものができるのです」と、HAYの共同創業者で家具・照明部門のクリエイティブディレクター、ロルフ・ヘイは語ります。「補助的、あるいは簡易的な椅子に感じられないことが、私にとっては重要でした」とルドヴィクは語ります。

ここでは、フォルムが出発点ではなく、ひとつの結果として生まれています。技術的な課題を解決することで美しさが生まれ、機能的な要素そのものがデザインとして表現されています。ブナ材の自然な木目を生かし、水性ラッカー仕上げによる豊富なカラーバリエーションを展開するBACKFLIP CHAIRは、実用性と柔軟性を兼ね備えています。必要なときに取り出して使い、使わないときには折りたたんで収納したり、専用のウォールブラケットで壁にすっきりと掛けて収納できます。ダイニングルームから会議室までさまざまな空間に自然に溶け込み、テンポラリーな椅子という印象を与えません。



BY GUDMUNDUR LUDVIK



THE BACKFLIP WALL BRACKET MOUNTS EASILY TO ANY WALL, HOLDING ONE OR TWO FOLDED CHAIRS SECURELY WITHIN REACH. AVAILABLE IN BLACK OR NATURAL WOOD FINISH.

MAGS SOFT LOW REMOVABLE COVER



ENDURING DESIGNS ARE WORTH REVISITING

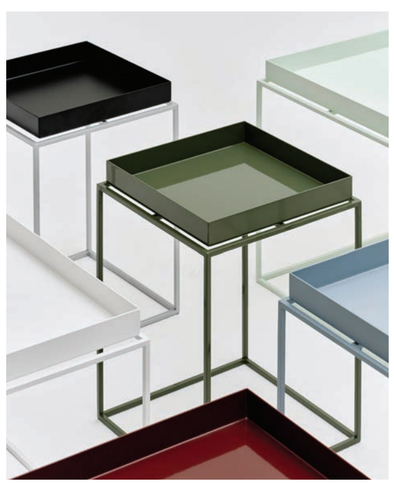
低めのアームレストが特徴のHAYのコンテンポラリーなソファに、取り外し可能なカバーが加わり、より柔軟に使えるようになりました。カバーは面ファスナーで固定されているため、道具を使わずに簡単に取り外すことができます。快適な座り心地やすっきりとしたラインといった特徴はそのままに、変化するインテリアに合わせて手軽に表情を変えられます。 ※日本国内展開未定

TRAY TABLE



A HAY CLASSIC, REFRESHED

新たなサイズやカラー、一部にはツートーンのバリエーションも加わり、日常のさまざまなシーンで活躍するラインナップがさらに充実しました。スチール製で、天板は取り外して便利なトレイとしても使用でき、コーヒーテーブルやベッドサイドテーブル、サイドテーブルなど、用途に合わせて幅広く活用できます。



ACCESSORIES NEWS





HAYのアクセサリーは、家の中でも外出先でも毎日使う身近なアイテムを、新たな視点で捉え直しています。
ドーシ・レヴィンによるDORIコレクションは、テキスタイルの伝統をベッドカバーやクッションに取り入れています。
一方、厳選されたESSENTIAL STEELコレクションは、現代のテーブルにどこか懐かしい趣を添えます。
アメリカ人アーティスト、エマ・コールマンの絵画的な世界観は、LA PITTURAテーブルウェアの新作へとさらに広がります。
このほかにも、キッチンやダイニング、ベッドルーム、バスルームなど、さまざまなシーンに向けた新しいデザインが加わります。

ESSENTIAL STEEL COLLECTION









AVAILABLE IN ROUND, OVAL, AND RECTANGULAR DISHES, AS WELL AS A WINE COOLER, BUTTER BOX, EGG CUP, AND CONE ICE CUP – ALL CRAFTED IN DURABLE STAINLESS STEEL WITH A POLISHED FINISH.

A TOUCH OF NOSTALGIA FOR THE MODERN TABLE

テーブルに置かれたステンレスには、ひと目でそれとわかる独特の存在感があります。そこには、カフェやブラッスリー、アイスクリームバーのような、手際よくサービスしながらも細部まで気を配る場所ならではの、堂々とした佇まいと洗練された雰囲気があります。耐久性に優れ、手入れがしやすいことから長く愛用されてきたステンレスは、見た目にも魅力的な素材です。光沢のある表面が光を受けて周囲を映し込み、シンプルなアイテムにもどこか特別な趣をもたらします。

こうした実用性と美しさの両立が、HAYのESSENTIAL STEELコレクションの核となっています。機能的で日常使いできるサービングウェアを大切にしてきたHAYの考えをもとに、さまざまなホスピタリティの伝統の中で使われてきたアイテムから着想を得て、厳選したコレクションです。それらをHAYの現代的なデザインの世界に取り入れ、今の食卓にふさわしい新たな魅力を与えています。丁寧に形作られたシルエットと磨き上げられた仕上げにより、どのアイテムも洗練された佇まいでありながら、気兼ねなく日常使いできます。

どこか懐かしさを感じさせながらも、決して古びた印象はなく、毎日自然と手に取りたくなるアイテムです。 ※日本国内の取り扱いは一部商品のみ



LA PITTURA



ARTIST EMMA KOHLMANN IN HER STUDIO
IN MASSACHUSETTS, NEW ENGLAND.



NEW MOTIFS, FAMILIAR FORMS

アメリカ人アーティスト、エマ・コールマンによるLA PITTURA
テーブルウェアコレクションに、新たなアートワークが加わります。
「La Pittura」とは、イタリア語で「絵画」を意味します。コールマン
のモチーフはハンドペイントの陶器へとさらに広がり、彼女ならで
はの豊かな表現によって、ひとつひとつのアイテムに生き生きとした
魅力を与えています。HAYはこれまで、誰もが手にできる良質なデ
ザインを大切にすると同時に、アートにも深い関心を寄せてきました。
その根底には、美しいものは人々の暮らしや住まいの中にあるべき
だという考えがあります。LA PITTURAは、そんなHAYの考えを
食卓の上でかたちにしたコレクションです。 ※日本国内展開予定



BY EMMA KOHLMANN



CANTEEN DISH CLOTH



REGN UMBRELLA



ESSENTIAL STEEL EGG CUP



SMOOTH COAT HANGER



PAPER SHADE



FLARE STEEL CANDLEHOLDER



HEXAGON CANDLE



MIZ WATER BOTTLE



MEGA DOT



DORI COLLECTION





COLOUR SAMPLES, MATERIAL SWATCHES, AND REFERENCE ARTWORK FROM THE DOSHI LEVIEN STUDIO.



NIPA DOSHI (LEFT) AND JONATHAN LEVIEN (RIGHT) IN THEIR STUDIO IN ISLINGTON, LONDON.



AVAILABLE IN THREE RICH, REVERSIBLE TWO-TONE COLOURWAYS, INCLUDING A REMOVABLE CUSHION COVER.

BY DOSHI LEVIEN

WHERE TEXTILE TRADITION MEETS CONTEMPORARY DESIGN

DORIコレクションでは、ドーシ・レヴィンがベッドカバーやクッションを、単なるファブリックアイテムとしてではなく、空間を形づくる存在として捉えています。HAYのためにデザインされたこれらのアイテムは、空間に柔らかさを添えるだけでなく、家具のような存在感で部屋の印象をつくり出します。

このコレクションは、ひとつのディテールと、ふたつの異なる美的感覚の出会いから始まりました。HAYの共同創業者でアクセサリー部門のクリエイティブディレクター、メッテ・ヘイがニパ・ドーシとジョナサン・レヴィンのロンドンのスタジオを訪れた際、ドーシが制作したテキスタイルサンプルのひとつに目を留め、その裏側に惹かれました。そこに施されたステッチのディテールから、さらなる可能性を感じたのです。ドーシはその時のことを振り返ります。「これはベッドカバーになる」その気づきから、プロジェクトは動き始めました。

ヒンディー語で「糸」を意味する言葉から名付けられたDORIコレクションには、ボンベイで育ったニパ・ドーシ自身の経験が、そのデザインに色濃く反映されています。ドーシはこれを「HAYの世界に異なるテキスタイル文化を取り入れること」と表現しています。その背景には、コットンや刺繍を日々の暮らしに取り入れてきたインドの伝統があります。こうした伝統は、格子柄や縁取り、コントラストを効かせたステッチ、リバーシブルの配色によって表現され、テキスタイルの伝統を現代的なデザインへと落とし込んでいます。

DORIは、空間を彩る美しさと機能性を兼ね備えています。ツートーンのリバーシブル仕様により、ひとつのアイテムでふたつの表情を楽しむことができ、裏返したり折り返したりすることで印象が変化します。ドーシが「シンプルで、誰もが楽しめるアイデア」と語るこの発想は、HAYのデザイン哲学にも通じています。ドーシはベッドを整えることを「とても大切な日々の習慣」と捉え、DORIについて「美しいベッドをつくり、シンプルなことを丁寧に行う、そのプロセスを楽しむためのもの」と語ります。刺繍による格子柄は、表面に繊細で色彩のある構成を生み出すとともに、ベッドカバーを整える際の目安にもなります。工業生産によってつくられるDORIには、丁寧に考え抜かれたデザインを多くの人に届けるというHAYの姿勢とともに、素材の手触りを大切にする考えが表れています。ドーシは「丁寧さ、知性、そして時間」と語り、そうした要素がDORIのものづくりにも息づいています。スタジオで直感的に生み出されたカラーパレットは、大胆さと控えめな美しさのバランスをとっています。離れて見るとグラフィカルな印象を与えますが、近づくと素材の質感や手仕事の温もりが感じられます。レヴィンは、小さなラベルにも目を向けます。そこにはドーシが手描きしたサインが刺繍され、彼女らしさを感じさせる印象的なディテールとなっています。DORIは、テキスタイルの伝統と現代的なデザインを緊密に織り合わせ、空間に温かみと彩り、そして存在感をもたらすコレクションです。 ※日本国内の取り扱いは一部商品のみ



PIVOT SHOWER CURTAIN



STRIPE BATH SHEET & STRIPE BATH TOWEL



WAFFLE SLIPPERS



WAFFLE BATHROBE



STRIPE BATH MAT



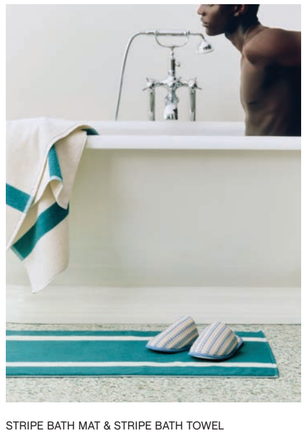
WAFFLE BATHROBE



STRIPE WASH CLOTH



WAFFLE BATHROBE & WAFFLE SLIPPERS



STRIPE BATH MAT & STRIPE BATH TOWEL



LIGHTING NEWS



ふたつの新たな才能が、照明を通してHAYのコレクションに加わります。
クレール・ラヴァーブルのPOSTO TABLE LAMPは、ランプをその本質まで削ぎ落としたデザインです。
素材感を生かした3つのアルミニウムパーツと2本のネジという、必要最小限の要素で構成されています。
一方、パリを拠点に活動するデュオ、ルクレール・ヴィアレによるCANELÉは、
細身の3本脚のスチールフレームに、プリーツを施したテキスタイルシェードを挟み込んだデザインです。
どちらもギャラリーで展示するオブジェとして生まれ、その後HAYのコレクションに加わりました。
さらに、ジュリアン・ルノーによるCOMPASSには、さまざまなシーンで使える新しいフロアランプが加わります。
いずれも、HAYが発表する新作照明の一部です。

CANELÉ TABLE LAMP



FROM WORKSHOP TO PRODUCTION:
EARLY SKETCHES BY LECLERCQ VIALLET.





FOLDED, PINCHED, ILLUMINATED

パリを拠点に活動するデュオ、ルクレール・ヴィアレによるHAYとの初のコラボレーションは、紙の上ではなく、彼らの工房から生まれました。平らな金属パーツを折り曲げ、組み立てながら、立体的に試行錯誤を重ねてデザインを形にしていきました。CANELÉはもともと、ギャラリーで展示するハンドクラフトのオブジェとして生まれ、その後、日常のための照明へと発展しました。その名は、縦に溝の入ったフランス・ボルドー地方の焼き菓子「カヌレ」に由来します。その特徴的な縦のラインを取り入れた、コンパクトで愛らしいフォルムが特徴です。

このランプの魅力は、相反する要素が生み出す美しいコントラストにあります。グラフィカルで建築的な細身の3本脚のスチールフレームが、プリーツを施したテキスタイルシェードをただ挟み込むだけのシンプルな構造です。シェードは単色ですが、その折り目が繊細なストライプのような表情を生み、奥行きと柔らかく有機的なシルエットをもたらします。まるで宙に浮いているかのように見えます。

HAYのためにオリジナルのハンドクラフト作品を工業製品へと展開しながらも、好奇心と丁寧なものづくりから生まれた、静かな力強さを残しています。明かりを灯すと、温かみのある色彩を帯びた光を放つ彫刻のような存在となり、テーブルや棚、窓辺など、さまざまな場所に自然に馴染みます。 ※日本国内展開未定

BY LECLERCQ VIALLET

POSTO TABLE LAMP



THE ART OF REDUCTION

HAYとの初のコラボレーションにあたり、フランス人デザイナーのクレール・ラヴァーブルは、ひとつのシンプルな問いを投げかけました。「ランプをその本質だけにまで削ぎ落とすと、何が残るのか?」その答えとして生まれたPOSTOは、アルミニウムをテーマとした展覧会をきっかけにデザインされたテーブルランプです。落ち着きのあるグラフィカルな佇まいと、あえて工業製品らしさを生かした表情が特徴です。

素材感を生かした3つのアルミニウムパーツを、2本のネジと電球用ソケットで組み立てることで、ランプを必要最小限の要素まで削ぎ落としています。ヘッドは支柱の上に軽やかに載り、ステムが静かで建築的な佇まいを生み出しています。ケーブルは目立たない溝に収められ、美しいシルエットを保ちます。POSTOは強く存在を主張することなく、じっくり見るほど、その魅力が伝わるデザインです。鋳造アルミニウムの表面には、ざらざらとした独特の手触りがあります。ショットブラスト仕上げには製造工程の痕跡がほのかに残り、それがこのランプならではの飾らない表情を生み出しています。デスクや棚、ベッドサイドテーブルなどで、空間を邪魔することなく、必要な場所に心地よい光を届けます。 ※日本国内展開未定

BY CLAIRE LAVABRE

COMPASS FLOOR LAMP

A NEW POSTURE

COMPASS FLOOR LAMPは、シリーズを特徴づける円錐形のシルエットをペンダントランプから自立式へと展開し、天井に取り付けることなく、ペンダントランプのような光をもたらします。伸縮可能なカーブしたアームがシェードを上から吊るし、優美なアーチを描きます。360度回転するベースと角度を調整できるシェードにより、自宅でも仕事場でも、必要な場所を的確に照らすことができます。
※日本国内展開未定





BY JULIEN RENAULT

AUTUMN NEWS 2026

TODAY